

「指導と評価の一体化」のための

学習評価に関する参考資料（中学校 保健体育）の活用ガイド

本ガイドは国立教育政策研究所の参考資料をもとに、先生方が授業を行うに当たり検討する、指導と評価の計画立案の参考となるよう、神奈川県教育委員会・市町村教育委員会の指導主事の協働で作成したものです。

○掲載項目（体育分野 事例4）

- 1 「学びに向かう力、人間性等」の指導内容、キーワードと想定される姿の確認
- 2 「単元の評価規準」の作成
- 3 「共生」に関わる指導と評価の確認
- 4 「共生」の指導に関わる学習評価資料の作成
- 5 実現状況の「判断の目安」、「想定される様相の検討」

○掲載項目（保健分野 事例8）

- 1 「単元の目標」の設定の仕方
- 2 「単元の評価規準」の設定の仕方
- 3 指導と評価の計画
- 4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

○活用ガイドのポイント

- ・単元評価規準の作成について
- ・学習評価材料の工夫についてのポイント
- ・想定される様相についての確認

掲載事例以外の単元でも、本ガイドに掲載されたポイントを参考に、日々の学習指導と評価の充実に向けた授業改善に努めましょう！

中学校 保健体育科(体育分野)事例4
キーワード「主体的に学習に取り組む態度」の評価

単元名 ダンス(創作ダンス)
第3学年

内容のまとめり
第3学年「G ダンス」

* 以下、本スライドに掲載されている右上の
ページ番号は、右の参考資料より抜粋

まずは体育分野における「学びに向かう力、人間性等」の指導内容を確認しましょう。



「学びに向かう力、人間性等」の指導内容と指導の充実に向けた進め方

① 第3学年ダンスにおける「学びに向かう力、人間性等」の指導内容、学習指導要領解説表記、キーワードと想定される姿の例の確認(表1)

② 本事例の第3学年ダンスにおける全ての「単元の評価規準」の作成(表2)

③ 指導と評価の計画における「共生」に関わる指導と評価の確認(図1)

④ 「共生」の指導に関わる時案略案及び学習評価資料の作成

⑤ 実現状況の「判断の目安」、「想定される様相の検討」(図2)

○第3学年ダンスにおける「学びに向かう力、人間性等」の指導」内容、学習指導要領解説表記、キーワードと想定される姿の例の確認

「学びに向かう力、人間性等」
体育分野における指導項目

学びに向かう力、人間性等	指導内容	学習指導要領解説表記	キーワードと想定される姿の例
愛好的態度	ダンスの学習に自主的に取り組むこと。	ダンスに自主的に取り組むとは、自己や仲間の課題に応じた練習方法を選択する学習などに自主的に取り組むことなどを示している。そのため、上達していくためには繰り返し粘り強く取り組むことが大切であることなどを理解し、取り組めるようになる。	○自主的 ○課題に応じた ○繰り返し粘り強く取り組む ■単元全体を通した自主的な姿
など(責任)	(自己の責任を果たそうとすること。)	自己の責任を果たそうとすることがある。これは、練習や交流会などで、仲間と互いに合意した役割に責任をもって自主的に取り組もうとすることを示している。そのため、自己の責任を果たすことは、ダンスの学習を円滑に進めることにつながることや、社会生活を過ごす上で必要な責任感を身に付けることにつながることを理解し、取り組めるようになる。	○自己の責任を果たす ○役割に責任をもって取り組む ■練習や交流会における役割や責任行動に取り組む姿
協力	互いに助け合い教え合おうとすること。	互いに助け合い教え合おうとすることは、練習や動きを見せ合う発表などの際に、仲間の動きをよく見たり、互いに課題を伝え合ったり教え合ったりしながら取り組もうとすることを示している。そのため、互いに助け合い教え合うことは、安全を確保したり、課題の解決に役立つなど自主的な学習を行いやすくなりやすくなることを理解し、取り組めるようになる。	○伝え合う ○教え合う ■他者との関わりの中で、伝える、教えるなどの互恵的に関わり合う姿
参画	作品や発表などの話合いに貢献しようとする。	話合いに貢献しようとするとは、作品創作や練習や発表・交流などの話合いの場面で、自己やグループの課題の解決に向けて、自己の考えを述べたり、相手の話を聞いたりするなど、グループの話合いに責任をもって関わろうとすることを示している。そのため、相互の信頼関係を深めるためには、相手の感情に配慮しながら発言したり、提案者の発言に同意したりして話合いを進めることなどが大切であることを理解し、取り組めるようになる。	○グループの話合い ○感情に配慮する ○発言に同意する ■グループの話合いで、配慮する、同意するなどの合意形成に取り組む姿
共生	一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする。	一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするとは、体力や技能の程度、性別や障害の有無等に応じて、自己の状況に合った実現可能な課題の設定や挑戦を大切にしようとし、練習や交流及び発表の仕方の修正に合意しようとし、様々な違いを超えて語りを楽しむことができる配慮をすることで、ダンスのよりよい環境づくりに貢献すること、違いに応じた配慮の仕方があることなどを理解し、取り組めるようになる。	○自己の状況に合った実現可能な課題の設定や挑戦を大切に ○違いに応じた配慮をする ■他者との関わりの中で、違いを受け入れている姿
健康・安全	健康・安全を確保すること。	健康・安全を確保すること。 健康・安全を確保すること。 健康・安全を確保すること。	○健康を維持する ○安全を保持する ■自身や仲間の体調や行動、環境への変化などへの健康・安全確保の状況

指導項目ごとの指導内容

学びに向かう力・人間性等を指導後、生徒が身に付けたときのイメージのポイントとして参考にします。
○「キーワード」
■「想定される姿」

他の領域でも参考に
なる視点ですね。

○この事例では、愛好的態度と共生と健康・安全を指導内容として取り上げられている。

学びに向かう力・人間性等	キーワード	想定される姿
愛好的態度(共通事項)	○自主的 ○課題に応じた ○繰り返し粘り強く取り組む	■単元全体を通した自主的な姿
共生	○自己の状況にあった実現可能な課題の設定や挑戦を大切にする ○違いに応じた配慮をする	■自他との関わりの中で違いを受け入れている姿
健康・安全(共通事項)	○健康を維持する ○安全を保持する	■自身や仲間への体調や行動、環境への変化などへの健康・安全確保の状況

「学びに向かう力、人間性等」の指導内容と指導の充実に向けた進め方

① 第3学年ダンスにおける「学びに向かう力、人間性等の指導」内容、学習指導要領解説表記、キーワードと想定される姿の例の確認(表1)

② 本事例の第3学年ダンスにおける全ての「単元の評価規準」の作成(表2)

③ 指導と評価の計画における「共生」に関わる指導と評価の確認(図1)

④ 「共生」の指導に関わる時案略案及び学習評価資料の作成

⑤ 実現状況の「判断の目安」、「想定される様相の検討」(図2)

表2 第3学年ダンスの全ての「単元の評価規準」(○囲み数字は、本事例における「単元の評価規準」)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①ダンスには、身体運動や作品創作に用いられる名称や用語があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②それぞれの踊りには、その踊りの特徴と表現の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③それぞれのダンスの交流や発表の仕方には、簡単な作品の見せ合いや発表会などがあること、見る人も拍手をしたりリズムをとるなどしたりして交流し合う方法があることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・自己の動きや仲間の動き方を分析するには、自己観察や他者観察などの方法があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・いろいろな動きと関連させた柔軟運動やリズムカルな全身運動をすることで、結果として体力を高めることができることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>○技能</p> <p>①「出会いと別れ」では、すれ違ったりくっいたり離れたりなどの動きを、緩急強弱を付けて繰り返して表現することができる。</p> <p>・「ねじる一回る一見る」では、ゆっくりギリギリまでねじって力をためておき、素早く振りほどくように回って止まり、視線を決めるなどの変化や連続のあるひと流れの動きで表現することができる。</p> <p>・「力強い感じ」では、力強く全身で表現するところを盛り上げて、その前後は弱い表現にして対照を明確にするような簡単な構成で表現することができる。</p> <p>②「大回り一回り」では、個や群で大きな円や小さな円を描くなどを通して、ダイナミックに空間が変化するように動くことができる。</p> <p>・「椅子」では、椅子にのぼる、座る、隠れる、横たわる、運ぶなどの動きを繰り返して、「もの」との関わり方に着目して表現することができる。</p> <p>③気に入ったテーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、一番表現したい中心の場面をひと流れの動きで表現して、はじめとおわりを付けて簡単な作品にまとめて踊ることができる。</p>	<p>①それぞれのダンスに応じて表現したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。</p> <p>・選択した踊りの特徴に合わせて、よい動きや表現と自己や仲間の表現を比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>②健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>・作品創作や発表会に向けた仲間と話し合う場面で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えている。</p> <p>③体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>・ダンスの学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p> <p>①ダンスの学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p> <p>・作品創作などについての話合いに貢献しようとしている。</p> <p>②一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p> <p>※共生にかかわる評価規準を赤字で示している。</p>

「健康・安全」の観点については、意欲をもつことにとどまらず、**実践することが求められている**ことから、文末の表記を「～している」と変更している。

- ・「健康・安全」: ～している。
- ・「健康・安全以外」: ～しようとしている。

主体的に学習に取り組む態度

- ①ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。
 - ・仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。
 - ・作品創作などについての話合いに貢献しようとしている。
- ②一人一人の違いに応じた**表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている**。
 - ・健康・安全を**確保している**。

※共生にかかわる評価規準を**赤字**で示している。

「学びに向かう力、人間性等」の指導内容と指導の充実に向けた進め方

① 第3学年ダンスにおける「学びに向かう力、人間性等」の指導内容、学習指導要領解説表記、キーワードと想定される姿の例の確認(表1)



② 本事例の第3学年ダンスにおける全ての「単元の評価規準」の作成(表2)



③ 指導と評価の計画における「共生」に関わる指導と評価の確認(図1)



④ 「共生」の指導に関わる時案略案及び学習評価資料の作成



⑤ 実現状況の「判断の目安」、「想定される様相の検討」(図2)

指導場面と評価機会を工夫した計画の作成

図1 第3学年ダンスにおける単元の指導と評価の計画の例

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
ねらい	・互いに助け合ったり教え合ったりしながら取り組もう。 ・表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、動きに変化をつけて即興的に表現し、ひと流れの動きで踊ろう。							・作品や発表などの話し合いに貢献し、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしよう。 ・テーマを選びイメージを深めて作品にまとめるなどして語り、発表しよう。									
0	健康観察・準備運動・本時の目標、内容等の確認																
習の 流れ	ひと流れの作品づくり							簡単な作品（ひとまとまりの作品）づくり									
	ナリメン ーション	身近な生活や日常動作	群の動き	はこびとストーリー	表したい内容のテーマにふさわしいイメージを深めて、変化や起伏のある簡単な作品「はじめのなかーおわり」（ひとまとまりの作品）の構成で表現して踊る。												発表会 準備
	・知、自主的 ・知、名鑑	・知、語り の 特徴	・息、健康 安全	・息、健康 安全	・息、健康 安全	■：一人一人の違い											・息、健康
	リズムに 乗って交流 しよう	身近な生活や日常動作 をテーマに編み込み をつけて踊ること。A	ダイナミックに空間が 変化するように聴いて 踊ること。D	テーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、 一歩表現したい中心の場面をひと流れの動きで表現して、はじめとおわりを付けて簡単な作品にまとめること。F	テーマの設定 ストーリーの設定 「はじめとおわり」をつけてひとまとまりの動きを考える。	「はじめとおわり」をつけて作品にまとめる。											中間 発表会
ペアで見 せ合い	グループ間で見せ合い							グループでの話し合い、見せ合い			ペアやグループ間で見せ合い			ペアやグループ間で見せ合い			リハーサル ミニ発表会
50	整理運動・本時の振り返り																
知識	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
技能	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
思考表	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
態度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
規 準	① 身体運動や作品制作に関与される名称や用語があることについて、学習した具体例を挙げている。 ② これらの語りには、その語りの特徴と表現の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 ③ それぞれのダンスの交流や発表の仕方には、簡単な作品の見せ合いや発表会などがあること、見ると相手からリズムをとるなどして交流し合う方法があることについて、学習した具体例を挙げている。 ④ 「出会いと流れ」では、それ違ったりつつたり隔れたりなどの動きを、編み込みを付けて繰り返して表現することができる。 ⑤ 「大回り・小回り」では、個や群で大きな円や小さな円を描くなどを通して、ダイナミックに空間が変化するように動くことができる。 ⑥ 劇に入ったテーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、一歩表現したい中心の場面をひと流れの動きで表現して、はじめとおわりを付けて簡単な作品にまとめることができる。 ⑦ それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、語りの特徴を捉えた表現の仕方を見つけている。 ⑧ 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 ⑨ 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともにダンスを楽しむための活動の仕方や修正の仕方を見つけている。 ⑩ ダンスの学習成果を振り返って、自己に選んだ「する、みる、やる、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見つけている。 ⑪ ダンスの学習に自主的に取り組もうとしている。 ⑫ 一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。 ⑬ 健康・安全を確保している。																

「なぜこの内容が大切なのか」などの汎用的な知識を指導

一人一人の違いが出やすい題材を取り上げながら、グループの仲間の考え等を「受け入れていく」姿に焦点を合わせて評価する。

一人一人の違いを大切にしようとする共生の態度が、単に他者から言われてやろうとするだけではなく、その価値や意義を理解し、自らの意思として行動化することにつながられるよう、思考力、判断力、表現力等の学習の充実を図っている。

・態度の育成には一定の学習期間が必要となります。適切な時期に指導をして、適切な時期に評価することが大切です。

「学びに向かう力、人間性等」の指導内容と指導の充実に向けた進め方

① 第3学年ダンスにおける「学びに向かう力、人間性等」の指導内容、学習指導要領解説表記、キーワードと想定される姿の例の確認(表1)



② 本事例の第3学年ダンスにおける全ての「単元の評価規準」の作成(表2)



③ 指導と評価の計画における「共生」に関わる指導と評価の確認(図1)



④ 「共生」の指導に関わる時案略案及び学習評価資料の作成



⑤ 実現状況の「判断の目安」、「想定される様相の検討」(図2)

◇学習カードの例

身に付けている状況を把握するために生徒が記入できる欄を設定する。

第3学年ダンス学習カード（抜粋）

		組	番	氏名
		主に、汎用的な知識		主に、具体的な知識
		時間	意義について書きましょう	どのように取り組むかを書きましょう
知識	②踊りの特徴	6/16		
	③交流や発表	7/16		
			どのような効果がありますか	学習したポイントを書きましょう
技能	①動きの例示 緩急強弱	3/16		
	②動きの例示 空間の変化	5/16		
	③動きの例示 はこびとストーリー	7/16		
			見付ける際の視点を書きましょう	具体的に見つけたことを書きましょう
思・判・表	①テーマや特徴を捉えた表現の仕方を見付ける	10/16		
	②健康・安全を確保するための練習方法の振り返り	6/16		
	③一人一人の違いに配慮した活動の仕方を見付ける	9/18	・それぞれの考えたことを否定するのではなく、なぜそうしたいのかを考える ・他者の立場から自身の行動や発言を振り返る	・作品作りで、空間をうまく使えていない課題があった。Aさんは、経験が豊富なので動きの苦手なBさんに基本の動きを教えていたけどBさんと一緒に行ったあたりがとうと言われた
	④運動を継続して楽しむための関わり方を見付ける	15/16		
			意義について書きましょう	どのように取り組むかを書きましょう
態度	①自主的に取り組む	14/16		
	②共生(一人一人の違いへの配慮)	1/18	様々な違いを越えてダンスを創ることで、ダンスを楽しむ環境が良くなる。一人一人の違いを受け入れることでよりよい人間関係が作れるから	自分は、あまりダンスが得意でないですが、友達のを考えたことをうまくできないけどやってみる。同じように得意でない人もいると思うので、いやな思いをしないように考えて発言する。

◇学習カードの工夫【思考・判断・表現】

各時間で身に付けることを把握するための**発問の工夫**が重要。→評価に活用できる

		見付ける際の視点を書きましょう	具体的に見つけたことを書きましょう
思 ・ 判 ・ 表	①テーマや特徴を捉えた表現の仕方を見付ける	10/16	
	②健康・安全を確保するための練習方法の振り返り	6/16	
	③一人一人の違いに配慮した活動の仕方を見付ける	9/16	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの考えたことを否定するのではなく、なぜそうしたいのかを考える ・他者の立場から自身の行動や発言を振り返る
	④運動を継続して楽しむための関わり方を見付ける	15/16	<ul style="list-style-type: none"> ・作品作りで、空間をうまく使えていない課題があった。Aさんは、経験が豊富なので動きの苦手なBさんに基本の動きを教えていたけどBさんと一緒に行ったらありがとうと言われた

「学びに向かう力、人間性等」の指導内容と指導の充実に向けた進め方

① 第3学年ダンスにおける「学びに向かう力、人間性等」の指導内容、学習指導要領解説表記、キーワードと想定される姿の例の確認(表1)



② 本事例の第3学年ダンスにおける全ての「単元の評価規準」の作成(表2)



③ 指導と評価の計画における「共生」に関わる指導と評価の確認(図1)



④ 「共生」の指導に関わる時案略案及び学習評価資料の作成



⑤ 実現状況の「判断の目安」、「想定される様相の検討」(図2)

態度②「一人一人の違いに応じた表現や交流、発表の仕方などを大切にしようとしている。」に関連する学習指導要領解説の表記及びキーワード等を踏まえ、観察及び態度のもととなる知識の記載、単元中の行動の変化等の視点から判断の目安等を作成

○具体の姿を構想することが大切。

理由

指導につながる

・単元計画のベースとなり、具体的な手立てを考案することができる。

評価につながる

・評価計画を整理し、指導と評価一体化を図ることができる。

・他の領域でも整理しておくことも大切であると思います。

実現状況	判断の目安	想定される様相
「十分満足できる」状況(A)	○共生の意義を踏まえ、互いの違いを生かそうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・共生の視点から、<u>他者が受け入れやすい動きを提示したり、自身が困難な動きに挑戦したりするなど、単元を通して共生の視点への定着が見られる。</u> ※取り入れようとする、生かそうとする、定着している
	○共生の意義を踏まえ、互いの違いに配慮しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>自身が実現困難な動きでも対応しようとする変化が見られる。</u> ・<u>共生の意義及び自身の行動に対しての具体的記述が確認され、行動が表出される。</u> ※気遣おうとする、尊重しようとする、建設的に考えようとする
「おおむね満足できる」状況(B)	○共生の意義を理解し、互いの違いを受け入れようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・共感している様子は確認できないが、<u>意義を理解し自己と他者の違いを受け入れている。</u> ・共生の意義は理解し、<u>自己と他者の違いを受け入れているが、単元の中では、消極的な姿勢も時折見られる。</u> ・他者の動きをまねるなどの動作に消極さがみられたが、<u>教師の手立てや自身の振り返りや他者のアドバイスから後半の活動での思いを統制するなどして取り組む様子が確認される。</u> ※知識を規範に行動する、思いを統制する、受け入れる
「努力を要する」状況(C)	○共生の意義やとるべき行動は理解しているが、理解に基づく行動が確認されない。 ○共生への意義やとるべき行動への理解が不十分で、受け入れようとする行動が見られない。	<ul style="list-style-type: none"> ・共生の意義は理解しているが、<u>自己の意見や感情の起伏が勝ってしまうなど、教師のアドバイスに対しても、消極的な姿が継続し、教師の働きかけに対しても、受け入れる発言や態度が見られない。</u> ※逃避するあきらめる敬遠する
	○共生への理解不足が見られ、他者の意欲を低下させる影響を及ぼしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>共生への意義やとるべき行動への理解が不十分で、他者の意欲を低下させる発言や態度をとる。</u> ・教師が働きかけを行っても、<u>他者の意欲を低下させる発言や行動が継続する。</u> ※嫌悪する否定する拒否する

中学校 保健体育科(保健分野)事例8
キーワード「主体的に学習に取り組む態度」の評価

単元名 健康と環境

内容のまとめり
第3学年(4)「健康と環境」

①「単元の目標」の設定の仕方



②単元の評価規準の設定の仕方



③指導と評価の計画(8時間)



④「主体的に学習に取り組む態度」の評価

保健分野における確認事項を左記の順で確認しましょう。

①「単元の目標」の設定の仕方

1単元の目標

(1) 身体の環境に対する適応能力・至適範囲, 飲料水や空気の衛生的管理、生活に伴う廃棄物の衛生的管理などの健康と環境について、理解することができるようにする。

⇒ 知識及び技能

(2) 健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

⇒ 思考力・判断力・表現力等

(3) 健康と環境について, 健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

⇒ 学びに向かう力、人間性等

学習指導要領解説を基に、「知識及び技能」「学びに向かう力、人間性等」は下線部を単元に合わせて記載する。「思考力・判断力・表現力等」は解説から記載する。

1) 知識・技能

- ①身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があること、また、体温を一定に保つ身体の適応能力には限界があること、その限界を超えると健康に重大な影響が見られることから、気象情報の適切な利用が有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
- ②温度、湿度、気流の温熱条件には、人間が活動しやすい至適範囲があること、温熱条件の至適範囲は、体温を容易に一定に保つことができる範囲であること、明るさについては、視作業を行う際には、物がよく見え、目が疲労しにくい至適範囲があること、その範囲は、学習や作業などの種類により異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
- ③水は、人間の生命の維持や健康な生活と密接な関わりがあり重要な役割を果たしていること、飲料水の水質については一定の基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的な水を確保していること、飲料水としての適否は科学的な方法によって検査し、管理されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
- ④室内の二酸化炭素は、人体の呼吸作用や物質の燃焼により増加すること、そのため、室内の空気が汚れてきているという指標となること、定期的な換気は室内の二酸化炭素の濃度を衛生的に管理できること、空気中の一酸化炭素は、主に物質の不完全燃焼によって発生し、吸入すると一酸化炭素中毒を容易に起こし、人体に有害であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
- ⑤人間の生活に伴って生じたし尿やごみなどの廃棄物はその種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理されなければならないことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。

2) 思考・判断・表現 3) 主体的に学習に取り組む態度

- ①健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見し、課題解決に取り組み、健康を保持増進する方法を選択している。
- ②健康と環境について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、疾病等のリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を選択し、他者と話し合ったり、ワークシートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。

- ①健康と環境について、課題の解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

下線部分 (.....、.....、.....)が指導内容から反映されている。

1) 知識・技能 [技能のない指導内容においても、観点名は「知識・技能となります。]

指導内容(解説に記載されている内容)	評価規準(例)
<u>知識及び技能</u>	知識・技能
<p>(ア) 身体の環境に対する適応能力・至適範囲 ア 気温の変化に対する適応能力とその限界 気温の変化に対する体温調節の機能を例として 取り上げ、身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があることを理解できるようにする。また、屋内外での熱中症や山や海での遭難などによる低体温症などを取り上げ、体温を一定に保つ身体の適応能力には限界があること、その限界を超えると健康に重大な影響が見られることから、気象情報の適切な利用が有効であることを理解できるようにする。 (他省略)</p>	<p>身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があること、また、体温を一定に保つ身体の適応能力には限界があること、その限界を超えると健康に重大な影響が見られることから、気象情報の適切な利用が有効であることを理解できるようにする。 (他省略)</p>

2) 思考・判断・表現

指導内容(解説に例示として記載されている内容)	評価規準(例)
<u>思考力・判断力・表現力等</u>	思考・判断・表現
<p>・<u>健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見すること。</u></p> <p>・<u>身体对环境に対する適応能力・至適範囲について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、熱中症などになるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだすこと。</u></p> <p>・<u>飲料水や空気の衛生的管理や廃棄物の衛生的管理について、習得した知識と自他を取り巻く環境とを関連付けたり、整理したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択すること</u> (他省略)</p>	<p>・<u>健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見し、課題解決に取り組み、健康を保持増進する方法を選択している。</u></p> <p>(他省略)</p>

3) 主体的に学習に取り組む態度

指導内容	評価規準(例)
<u>学びに向かう力、人間性等</u>	主体的に学習に取り組む態度
<p>※保健分野においては、学習指導要領に「学びに向かう力、人間性等」の指導内容は示されていない。</p> <p>「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知) 別紙4各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨」の内容を踏まえ、文末を「<u>～しようとしている。</u>」として、評価規準を作成する。</p>	<p>・健康と環境について、課題の解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうと<u>している。</u></p>

③指導と評価の計画(8時間)

時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法等
1	・気温の変化に対する適応能力とその限界について理解する。 ・ 身体 の適応能力についての学習に自主的に取り組む。	①		①	知：問答，ワークシート 態：問答，観察，ワークシート，学習カード* 診断的評価
2	・温熱条件や明るさの至適範囲について理解する。	②			知：問答，ワークシート
3	・気象情報の利用，熱中症の予防等について，健康課題を選択し，教科書等を活用して解決策を選択する。		①		思：問答，ワークシート
4	・飲料水の衛生管理について理解する。 ・ 健康 と飲料水についての学習に自主的に取り組む。	③		①	知：問答，ワークシート 態：問答，観察，ワークシート，学習カード* 形成的評価
5	・空気の衛生管理について理解する。	④			知：問答，ワークシート
6	・生活に伴う廃棄物の衛生的管理について理解する。	⑤			知：問答，ワークシート
7	・災害と環境等の健康課題について，教科書等を活用して解決策を選択し，他者に伝え合う。		②		思：問答，ワークシート
8	・ 環境問題 についての学習に自主的に取り組む。			①	態：問答，観察，ワークシート，学習カード* 総括的評価

保健分野の「主体的に学習に取り組む態度」においては、指導内容が具体的に示されていないため、**単元全体を通して適切に評価**していくため各時間を「破線」で区切っている。

④「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

教師が準備した資料や教科書等を基に調べ、友達と情報交換をしてその解決方法を修正しようとしたり、別の方法を追加しようとしたりしている生徒の状況

「十分満足できる」状況(A)と判断する生徒の姿の例

- ・適応能力や、飲料水の衛生的な管理についての知識を習得する場面で様々な資料を粘り強く探し、具体例を示そうと努力している。
- ・災害と環境等の健康問題について、課題解決の方法を説明するために、自ら探した資料や対話により深まった考えから、適切な理由や根拠を得ようとしている。
- ・健康と関連性がない課題に取り組んでいたことに気づき、自ら資料を探して、健康と環境のかかわりについての課題と解決方法を見付けようとしている。
- ・単元全体を通して、どのような課題に対しても、その解決に向けた学習に粘り強く取り組もうとしている。

「努力を要する」状況(C)への手立て

- ・健康と環境について、写真や図などの視覚的な資料を示したり、身近な具体例を挙げたりして自主的な取組を支援する。

「努力を要する」状況(C)になりそうな生徒に対して**適切な手だてが重要**になってきます。

下線「粘り強く学習を調整しようとしている」生徒の姿の例

「主体的に取り組む態度」については単元全体を通して総合的に評価することが適切であると考えられる。本事例では、「ワークシート」等の記入内容や単元を通じた観察に基づき、単元のまとめで総括的に評価することとしている。